

「もりおか町家物語館」の持続可能な賑わいの創出を目指して 「昭和元号制定百年記念音楽コンサート」を開催！



10月11日（土）・12日（日）の2日間、もりおか町家物語館（鉈屋町）にて「昭和元号制定百年記念音楽コンサート」が開催され、併せて「三陸振興応援物産市」も行われました。主催は特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター（坂田 裕一理事長）。



▲バンドによる音楽コンサート

音楽コンサートでは盛岡市近郊で活動しているエレキバンドによる演奏などが披露され、会場は大きな賑わいを見せっていました。また、物産市では、沿岸地域の海産物業者4社が出店し、来場者の関心を集めています。

このイベントは、同法人がもりおか町家物語館を持続可能な地域の交流や観光拠点として発展させることを目的とする「市歴史的町家展示交流館『もりおか町家物語館』」を拠点にした持続可能な賑わいの創出及び移動（交通）手段調査プロジェクト」として、盛岡市の市民協働推進事業（協働事業）に採択され、補助金を活用して開催されたものです。

地域活動バス「せきれい」事業の廃止（予定）等のお知らせ

市では「盛岡市自治体経営改善方針及び実施計画」に基づく取組として、全事務事業の精査及び見直しを行っており、この取組の中で「地域活動バス「せきれい」事業」の廃止を検討しております。大変心苦しい判断ではございますが、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、令和7年度の冬季運行時における使用条件の変更についても併せてお知らせします。

1 事業廃止（予定）

(1) 事業廃止予定日

令和8年3月31日（火）

(2) 廃止理由

利用件数がピーク時の半数以下となり、新規利用団体の減少及び利用団体の固定化が進むなど、効果が限定的となってきている現状から、今後の事業運営に必要な経費などを考慮すると、廃止を検討せざるを得ない状況であるため。

詳しくはこちらをご覧ください
(広報ID: 1001903)



2 令和7年度冬季運行時の使用条件の変更

(1) 変更内容

運行範囲を「岩手県内」から「盛岡市内」に変更します。

(2) 期間

令和7年12月1日（月）から
令和8年3月31日（火）まで

(3) 変更理由

冬季間は日没時間が早くなる上、降雪等による路面状況の悪化により運行時間が長くなることから、長距離の移動は安全運行の確保が難しくなるため。

つながる

Vol. 105

輪・和・WA
轟・和・WA

発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL: 019-626-7535 (直通)

(令和7年12月発行)

第20回玉山地域公民館まつり



10月25日（土）・26日（日）の2日間、盛岡市渋民公民館・盛岡市渋民文化会館（姫神ホール）（渋民字鶴塚55）を会場に、第20回玉山地域公民館まつりが開催されました。主催は、玉山地域公民館まつり実行委員会、好摩地区公民館、玉山地区公民館、薮川地区公民館及び渋民公民館。

来場者は、地域で活動するサークルのステージ発表や作品展示を楽しみながら、生け花体験やフリーマーケットなど多彩なブースを自由に巡り、地域の魅力を満喫していました。

また、今年度は、渋民公民館・姫神ホールが開館30周年を迎える節目の年であることから、記念企画として、25日には「玉山地域 神楽の饗

宴～四季に舞う、里人の祈りと神々～」と題した神楽の演舞が、26日には、8月に開催された全国中学校総合文化祭に出演した盛岡市立渋民中学校の皆さんによる群読劇「アテルイ」の披露が行われたほか、書道教室「啄墨会」による大型の書作品が展示されました。

神楽の演舞では、玉山地域に伝承されている5団体が、神楽の解説を交えながら勇壮な舞を披露しました。舞の中で、力強い所作や躍動感あふれる動きが披露されるたび、会場は大きな拍手に包まれ、玉山地域に受け継がれる伝統の力強さが感じられるひとときとなりました。渋民中学校の群読劇では、皆さんの息がぴったり合い感情のこもった朗読に、観客が引き込まれていました。

地域の文化が彩る交流の祭典

第39回仙北地区文化祭

10月25日（土）・26日（日）の2日間、仙北地区活動センター（仙北2）を会場に「第39回仙北地区文化祭」が開催されました。主催は仙北地区社会教育福祉推進会（中村 一会長）。

会場では、住民による作品展が開かれ、生け花、写真、書道、切り絵、リース、手芸など、多彩なジャンルの力作の数々が来場者の目を楽しませました。また駐車場にはラーメンや焼き鳥、神子田朝市などのテント出店が立ち並び、食の魅力も満喫できる空間となりました。



▲仙北中学校文芸部による朗読劇

25日には、盛岡市立仙北中学校文芸部による朗読劇をはじめ、コーラスや日本舞踊、フラダンスなどのステージ発表が行われたほか、屋外会場では、吹奏楽やマーチングバンドの演奏、さんさ踊りなどが披露され、魅力あふれる多様な演技に、会場は大いに盛り上がりました。

また26日には、くじ引きや輪投げ、トークショー、ちゃぶ台返しといったユニークな企画が展開され、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる内容となっていました。

期間中は2,577人が来場し、訪れた人々は、地域の文化と交流の温かさが感じられる、心豊かな時間を楽しんでいました。



2025盛岡市ボランティアまつり「ふれあい広場」 見て、聞いて、体験して広がる“えがお”の輪

盛岡市ボランティア連絡協議会（遠藤 真喜 男会長）と盛岡市社会福祉協議会（谷藤 裕明 会長）は10月26日（日）、キオクシアアイーナ（盛岡駅西通1）にて「2025盛岡市ボランティアまつり『ふれあい広場』」を開催しました。

市内でボランティア活動を行う31団体が出展し、手話体験やアイマスク等を着用しての高齢者疑似体験といった福祉体験ブースのほか、絵本の読み聞かせやハンドメイド雑貨のバザー等のブースもあり、多くの来場者で賑わいました。

ステージではマジックショーが開催され、見ていた子どもたちは「一体どうなっているんですか！ 次はどうなるんですか！？」と驚きの声を上げるなど、楽しみながらボランティア活動への理解が深まる催しとなりました。



盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携40周年記念事業

令和7年度“世界につながるまち盛岡”市民会議推進イベント

“世界につながるまち盛岡”市民会議（岩山 徹会長）は、10月5日（日）、盛岡駅ビルフェザン（盛岡駅前通）において、推進イベント「もっと知ろう、伝えよう～世界と盛岡の架け橋をめざして～」を開催し、プレゼンテーション・トークイベントや展示等を行いました。



プレゼンテーションでは、令和6年度中学生ビクトリア市研修（第31回）に参加した生徒を代表し、現在高校一年生の工藤 優衣さん、寒河江 美友さん、前原 万波さんの3名が、研修で学んだことや今後の目標などを発表しました。

トークイベントでは、聞き手としてフリーアナウンサーの葛巻 舞香さんをお迎えし、ビクトリア市出身のダニエル・メイスさん、研修に参加した前原 万波さんが、ビクトリア市と盛岡市のそれぞれの魅力や国際交流に必要なこと

▼工藤さん、寒河江さん、前原さんによる プレゼンテーション



同会HPはこちら



▼ダニエルさん、前原さんによる トークイベント（聞き手 葛巻さん）



八 岩手のもりおかを、世界のMORIOKAへ八
“世界につながるまち盛岡”市民会議